

2024(令和6)年は西区制80周年

知ってる?

西区のむかし

西区文化協会は1981(昭和56)年の創立。創作・芸能・茶道部門に分かれて活動しており、誰でも加入できます。「にしぶんか」は創立から5年後に発刊されました。西区に密着した文化と歴史、地域に隠された趣あるエピソードを交えて、温故知新を語り継ぐ広報誌です。地域振興課(区役所4階48番窓口)でお渡ししています。



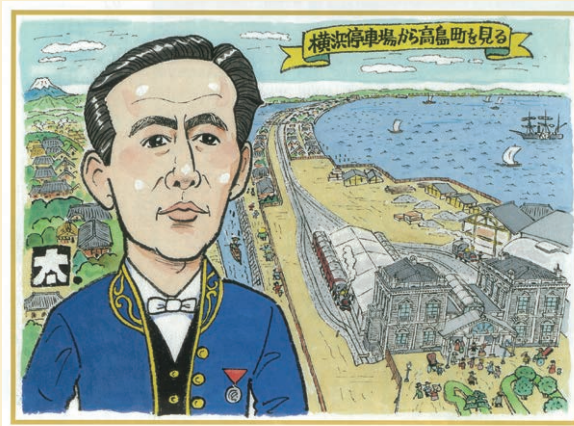
2024(令和6)年に西区は80周年を迎えます。これを記念して、西区文化協会が発行している広報誌「にしぶんか」から、これまでの西区の歴史をひも解いていきます。ぜひ西区のむかしに思いをはせてみてください。

第8回

たかしま か え もん
高島嘉右衛門

……にしぶんか No.35 から

高島嘉右衛門は、江戸の材木商人の家に生まれ、横浜に出て材木商として成功しました。大隈重信と知り合い、明治3年、横浜の鉄道敷設用地海面埋立工事を落札します。そして、戸部から平沼一带に広がっていた入江の一部を弓形に埋め立てて開港場(現在の神奈川県庁近く)までの線路の最短ルートを築きました。出来上がった埋立て地の、線路及び道路部分を除いた残りは嘉右衛門に与えられました。そこが横浜駅近くの「高島町」の町名の由来になっています。



絵 鈴木太郎

問 西区文化協会事務局(地域振興課内) Tel 320-8392 fax 322-5063